



JR吹田駅

画・高宮良子

**すいた今昔** JR吹田駅は、今も昔も吹田の中心。自働車と郊外の大型店に負けず、ガンバレ！吹田駅&商店街

## CONTENTS

太陽光パネル設置工事疑惑

550名の市民

「工事費返せ」と井上市長らに住民監査請求 2

すいた市民しんぶん 対談

吹田市の「ルールなき解雇」許さない 4

公立の幼稚園・保育園34園を「こども園」18園にする

「維新流」市政 子育て世代に冷たく、「待機児童解消」やる気なし宣言? 6

家を奪われ、家族を亡くし、日々の食料も...

人が簡単に殺されていく街—アレッポ 10

従軍慰安婦問題 橋下市長は「大阪の恥」 8

吹田溺愛主義④

小野原街道漫步  
亀岡街道と西国街道をつなぐ道 12  
新山 ひろし

被災地のバッセン②

気仙沼フェニックスパッティングセンター 14  
宮城県気仙沼市

いわみせいじのヨコシマ日記⑳ 15

この新聞は定期的に発行し、吹田市民のみなさまにお届けしています。

**J** R吹田駅が開業したのは、1876年(明治9)のこと。当時は大阪を出発した汽車は高槻まで停車しなかったのだ、その中間駅という位置づけだったので。駅舎は今のアサヒビール工場前、西ノ庄町にあったが、1924年(大正8)に今の場所に移転される。駅舎の移転については、「アサヒビール工場派」の議員と「旭町商店街派」の議員の間で綱引きがあったと言われている。そのアサヒビール吹田工場は吹田駅に遅れること15年、1891年(明治24)に「大阪麦酒会社吹田村醸造所」として開業した。なぜこの場所に工場を建てたのか?。それは良質な地下水がこんこんとわき上がる地で、なおかつ鉄道が整備され交通の要所だったからである。

「吹田村醸造所」ができて1年後、1892年に「アサヒビール」が発売される。当時は「旭ビール」と呼称していた「朝日ビール」ではなかった。なぜ「アサヒ」というブランド名にしたのか、諸説あつて確定していないようだ。

1980年代は売り上げが伸びず、業界4位のサントリーに迫られ「夕日ビール」と擲棄されたのだが、1987年「スーパードライ」の大ヒットで、業績はV字回復、現在に至っている。